

2020年6月「美肌用遺伝子発現促進剤」で**特許取得**

玄米麹発酵エキス

玄米麹発酵エキスとは

新規お取り扱い開始となる玄米麹発酵エキスは、原料に国産玄米を使用し、厳選された麹菌を使ってじっくりと発酵させたエキスを使用しています。発酵作用によりタンパク質の分解物であるアミノ酸の複数連なったペプチドや、デンプンの分解物である糖類が角質層へ浸透しやすい大きさにまで分解されています。

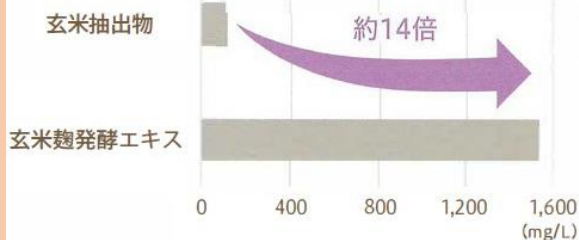
また、水溶性のため、化粧水、美容液、クリームなどの手作り化粧品にも添加しやすい原料となっています。

麹菌発酵により生まれる肌への浸透力

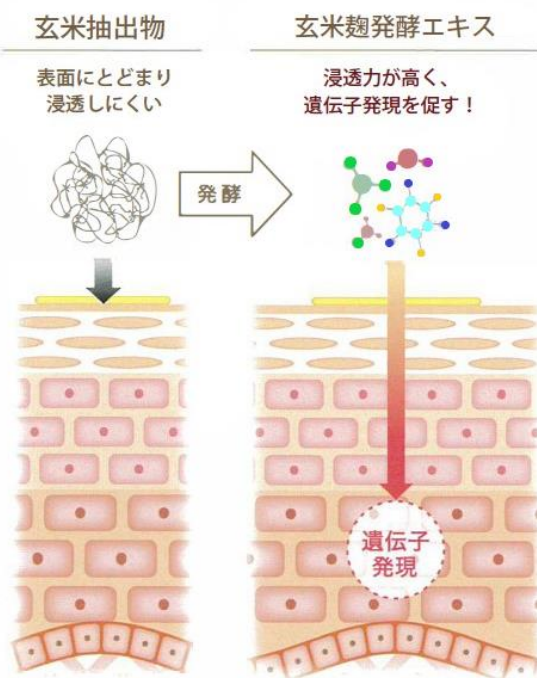
肌への浸透性が高く、効果を発揮する成分は、その分子量が500未満であることが望ましいとされています
玄米麹発酵エキス中の成分は、そのほとんどが分子量500未満のペプチドや糖類などで構成されています

ペプチド		糖 類	
分子量範囲	分析結果	分子量範囲	分析結果
3,000以上	2%	3,000以上	6%
1,000~3,000	2%	1,000~3,000	6%
500~3,000	2%	500~3,000	9%
500未満	94%	500未満	79%
合計	100%	合計	100%

発酵前後の遊離アミノ酸量の違い(HPLC分析結果)



玄米を発酵することで、遊離アミノ酸量が約14倍に増加



ココに注目!!



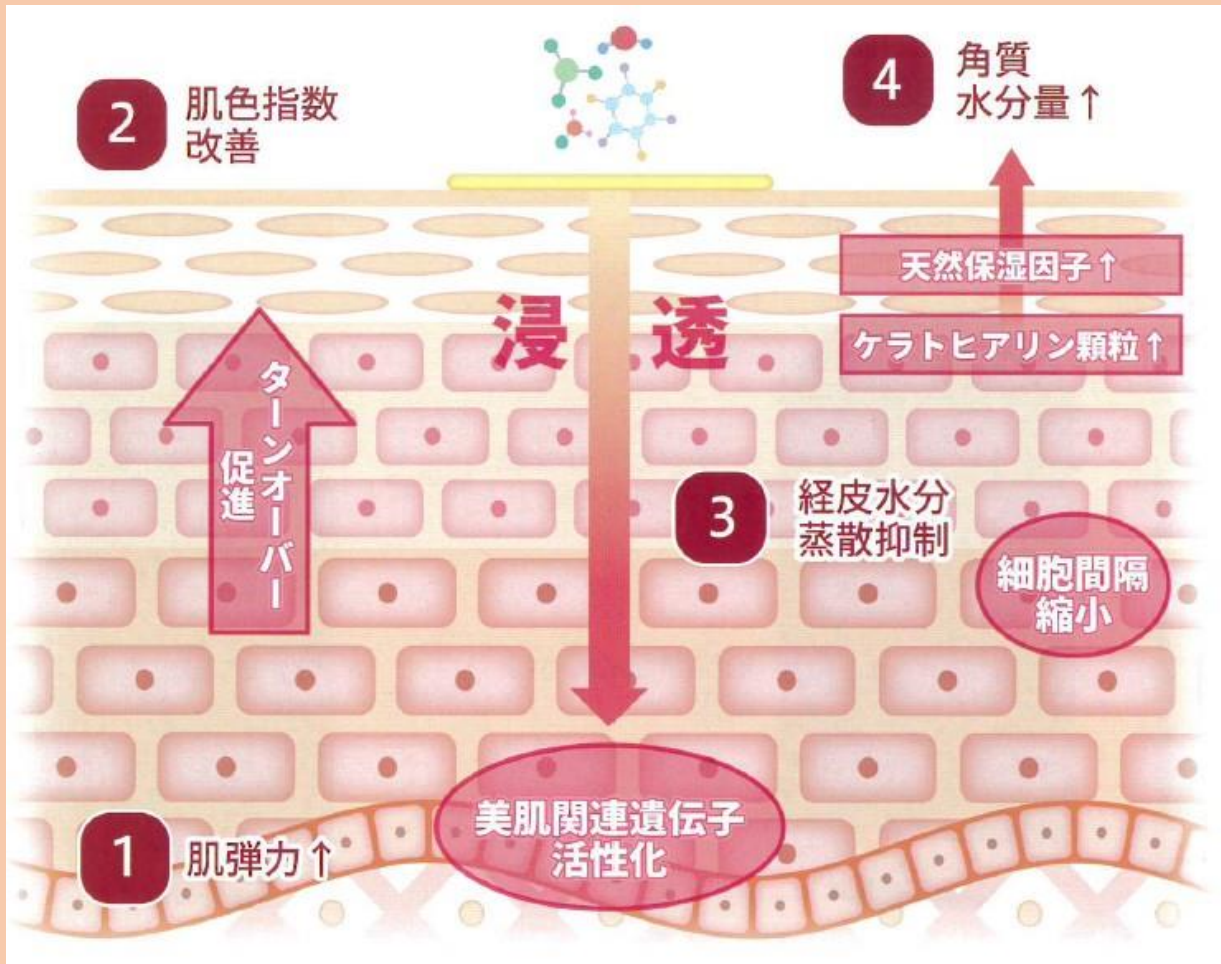
実使用の効果データ

ヒトの肌に実際に玄米麹発酵エキスを推奨濃度である 5%配合した化粧水を使用した結果、15日で肌弾力が4%改善、30日で肌が明るくなった、皮膚からの水分の蒸発が抑えられた、肌の水分量が約9%増加したことが確認されています。

また、皮膚三次元培養モデルを使用した実験では、細胞間の隙間が小さくなることと、紫外線を防ぎ、天然保湿因子の元になるケラトヒアリン顆粒が増加していることも確認されています。

美肌用遺伝子発現の促進

美肌用遺伝子発現促進剤とされる本製品は、肌関連遺伝子である **TGM1**、**LCE3D**、**CLDN7**、**OCLN**、**BMP2**、**PPARD**、**HBEGF**、**VEGFA**、**TGFβ1** という 9 種の遺伝子を活性化することが確認されています。



各美肌用遺伝子の期待される効果

TGM1、**LCE3D** は角質層でバリア機能として働くコーニフィイドエンベロープと呼ばれる構造の形成促進をし、角質バリア機能を向上させることが期待されます。

CLDN7、**OCLN** は顆粒層にあるタイトジャンクションと呼ばれる構造の形成を促進し、バリア機能を向上させることが期待されます。

BMP2、**PPARD**、**HBEGF** はターンオーバー調整にかかわる遺伝子で、ターンオーバーの正常化や肌の基本的な構造の強化が期待されます。

VEGFA は血流を促進し、**TGFβ1** は真皮の構造強化を促します。その結果表皮・真皮の成長因子 (EGF、FGF など) 関連遺伝子の発現を上昇させ、ハリ・弾力の向上が期待されます。

販売価格 (税抜)

4,000 円/10ml 入